RA概要

Rotaract: Rotary (ロータリー) + Action (行動)

**** ロータアクト活動指標 ****

我等は、ロータリー精神に則り、指導力を開発し、 健全なる市民精神を育成するために、次の指標に向かって修練を積もう。

- 一.会員相互の友愛を深め、各自の人間開発に役立てよう。
 - 一.職業人としての誇りを持ち、その責務の達成に努力しよう。
 - 一.地域社会を識り、奉仕を実践しよう。
 - 一.国際理解につとめ、世界の平和に寄与しよう。

歴史 (57年)

1968年3月13日 ノースシャーロットRAC(ノースシャーロットRC) 1968年6月 国際商科大学RAC(川越RC)

どちらも大学基盤

世界のローターアクト



Rotaract (



2770地区の歴史と大宮西RAC

Rotaract (

歴史

1968.6. 国際商科大学RAC (現川越RAC) 1968.7. 第357地区 (埼玉・千葉) に再編 1988.7. 第2770地区(埼玉南東)に再編 1988-1899 初代地区RA代表 小林彰(大宮西RAC)

1999-2000 第11第地区RA代表 日高大洋 (大宮西RAC)

2019.10. 規定審議会「プログラム ▶ RI会員 」

2025-2026 大宮西RACリスタート

国際ロータリー 第357地区

ロータリアンとしてアクトとできること



- 1. ローターアクトの例会に参加する
 - > 単純接触効果
 - ▶ まずは信頼関係を築くこと
- 2. ロータリーの年間計画書を共有する
 - ➤ RAが参加しやすい例会に参加を促す
 - ▶ 一般RA会員を多く巻き込む

3. 奉仕事業 に巻き込む / を任せる

- > ちょうどいいレベルの事業を行う
- ▶ 成長欲への刺激
- > 仲間意識の醸成

会う回数が多いこと

- = 組織への愛着
- = 組織作りの基礎
- = タスクを思い出す きっかけ

Rotary / <u>Rortaract</u>の本懐

- = 惰性で続けない
- = 自慢できる活動

お知らせ



- HP更新しました!
- · 25/10/12 Sun. 第二回補助金事業
 - 埼玉子ども食堂プロジェクト - スポーツ大進行計画 -
- · 26/04/11 Sat. 第37回地区年次大会 FUTURE~未来へ繋げよう~

(1)

国際ロータリー第2770地区ローターアクト

2025-26年度のターゲット





スマイル報告

■副 SAA 廣渡 健司



今回の進行は SAA 新井 清太が担当しました

出席報告

■出席委員会 委員長

新藤 栄介



2025 年 7 / 25 (金) 26 (土) の 1 泊 2 日の日程で、米山記 念奨学生のモモトトゥンさんが富士登山に参加しました









